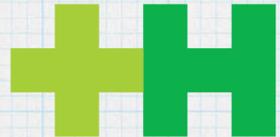


薬局・薬剤師という医療的社会資源を活かす

薬剤師の対人業務が拓く

医療の未来

 ファルメディコ 株式会社

狭間 研至

医師・薬局経営者の立場から

ポリファーマシー



医師の過労問題



増大する医療費



6万軒の薬局・24万人の薬剤師の活用！

薬剤師の仕事が、薬を渡すまで（**対物**）からのんだ後（**対人**）までにシフトすることが重要

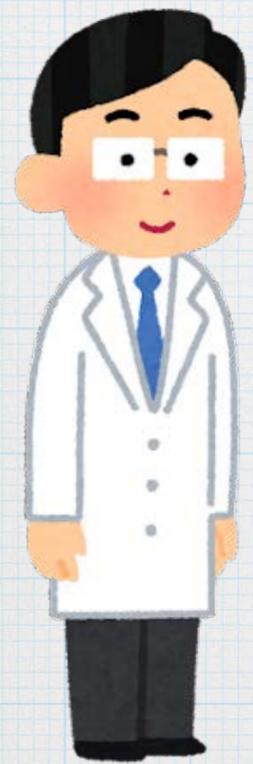
薬剤師が**対物業**業務に専念する場合

医薬**分業**型モデル

医師

薬剤師

患者



診察

診断

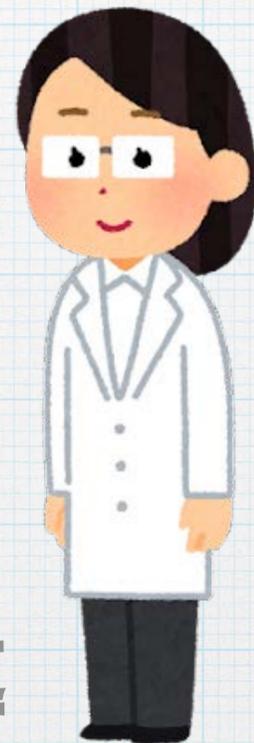
処方



処方監査

調剤

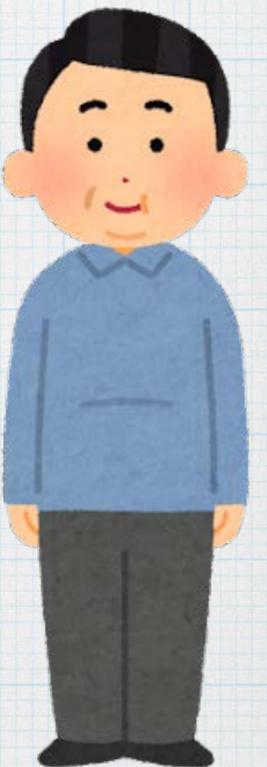
服薬指導



症状AにXを処方

症状BにYを処方

症状CにZを処方



「お薬受診」に多忙 専門性発揮しづらい
「お薬を渡すまで」を担当

ポリファーマシー

薬剤師が対人業務まで担う場合

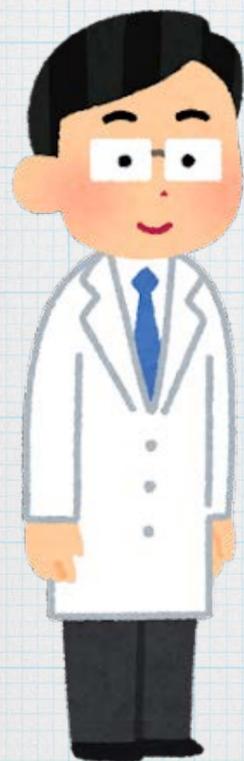
医薬協業型モデル

医師

(令和2年改正 医薬品医療機器等法)

薬剤師

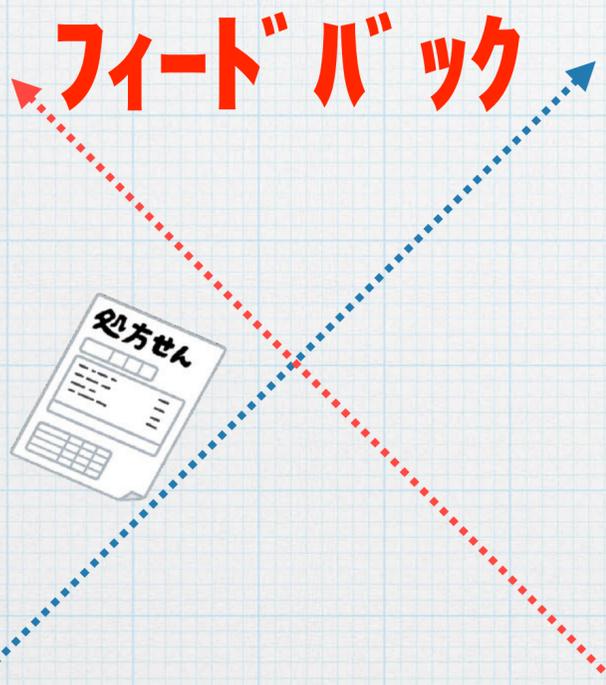
患者



診察

診断

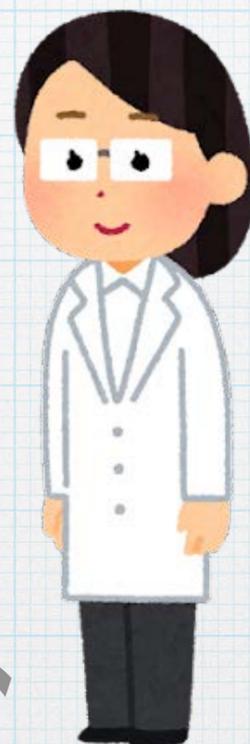
処方



調剤

フォロー

アセスメント



医師の診察と処方

薬剤師によるフォロー

次回診察時に反映



新しい治療戦略

「お薬をのんだ後まで」を担当

専門性の発揮

処方内容の最適化

対人業務にシフトできない理由

対人業務を行うには
薬剤師が忙しすぎる



機械化・ICT化
非薬剤師の活用

対人業務を行うと
薬局の採算が合わない



調剤報酬の改定
非薬剤師の活用

非薬剤師活用の効果

- ・ 薬剤師の時間を創出
- ・ 人件費を適正化



課題：薬剤師法19条

「調剤」行為は
薬剤師の独占業務